

平成27年6月24日
総務企画局政策調整課

地方創生について

(国家戦略特区提案「北九州市スマートシティ創造特区」について)

1 募集期間

平成27年4月28日(火)～平成27年6月5日(金)

2 提案主体

北九州市

3 提案内容

「北九州市スマートシティ創造特区」提案書

資料1

4 提案募集結果

1.提案件数 : 183件

2.応募団体数 : 155団体

(内訳) 民間事業者等(個人含む) 91団体、地方公共団体 64団体

5 今後のスケジュール

資料2

「北九州市スマートシティ創造特区」 の提案について

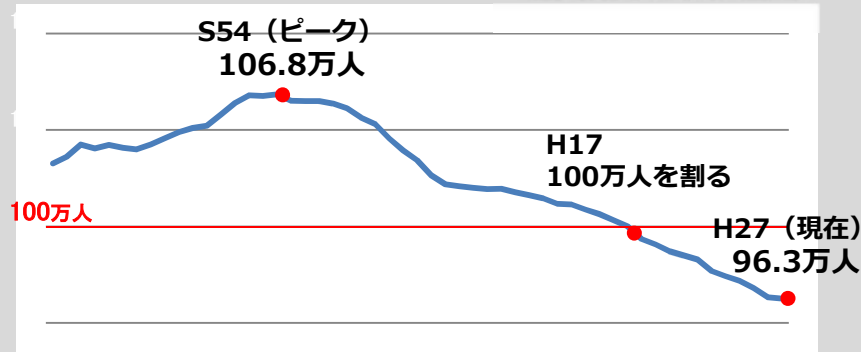


平成27年6月5日
北九州市

北九州市の現状

ピーク時から10万人減少

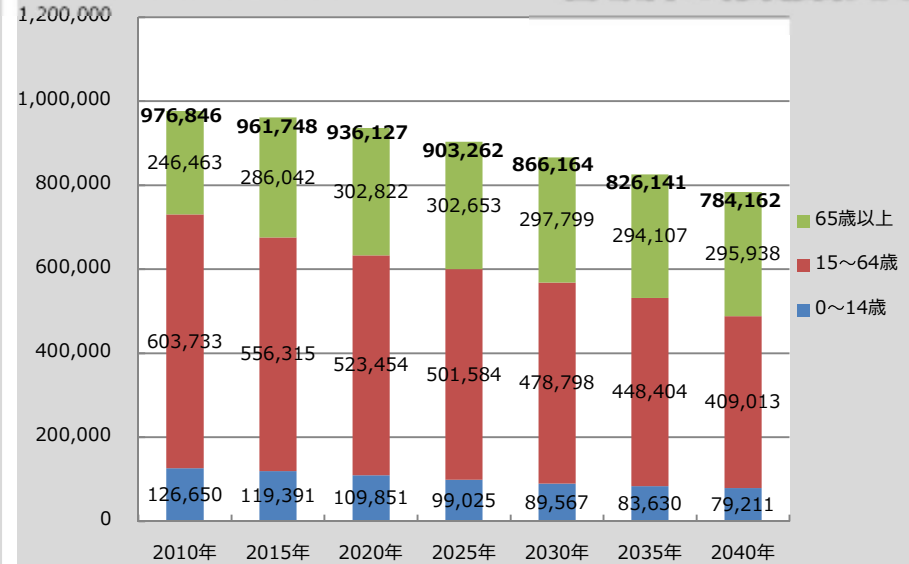
北九州市の人口推移



- 過去5年間 (H22~26) で約2万人の減少
- H15以降、自然動態・社会動態ともに減少

将来推計人口

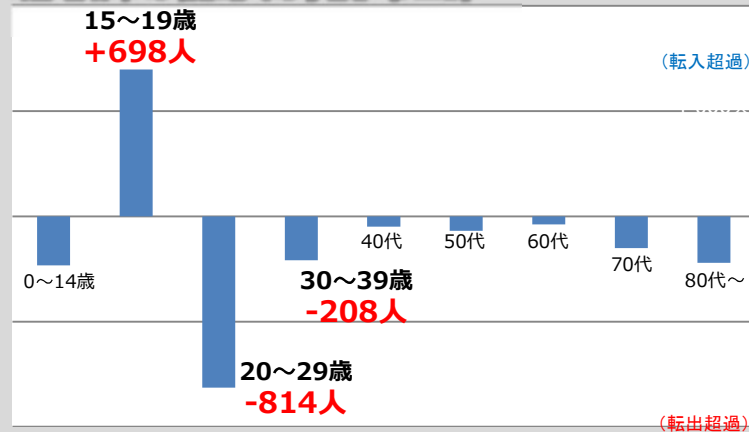
北九州市の将来推計人口



国立社会保障・人口問題研究所による

若者を中心とした人口流出

北九州市の転出入の状況 (H25)



- 進学等により10代は転入超過。卒業者の市内就職率が2割程度にとどまるため、20・30代は転出超過

政令市で一番高い高齢化率

高齢化率の政令市比較 (H26.3)

北九州	静岡	京都	新潟	堺	神戸	浜松	大阪	岡山	名古屋
27.2%	26.9%	25.7%	25.6%	25.1%	25.1%	24.5%	24.2%	23.8%	23.2%
札幌	千葉	熊本	広島	横浜	相模原	さいたま	仙台	福岡	川崎
23.1%	23.1%	22.9%	22.3%	22.1%	22.1%	21.1%	20.7%	19.5%	18.4%

- 人口の約3.7人に1人が高齢者
- 高齢者の約半数が、75歳以上
- 6割近い高齢者が社会貢献したい意向

北九州市のポテンシャル

ロボット開発拠点・豊富な人材



- 世界的に有名なロボット企業が存在
- 理工系を中心に人材の安定確保が可能



理工系大学・大学院、
工業系高校・高専の
卒業予定数
約4,500人/年

物流機能・産業インフラの充実



九州で唯一24時間運用が可能な
北九州空港



大型船の寄港に適した大水深岸壁を擁する
ひびきコンテナターミナル

- 中国自動車道・九州自動車道・東九州自動車道の結節点
- 政令市で一番安い工業用水
- 安定・安価な電力供給に向けた取組みを推進

環境分野の国際展開



インドネシア国スラバヤ市等
アジア諸国との都市間連携



環境ビジネスのアジア展開を支援
アジア低炭素化センター

- アジア低炭素化センターを中核とした環境ビジネスの国際展開を推進
- 公害克服の経験とノウハウを活かした「北九州モデル」を構築
⇒アジアの49都市で85の企業・大学と連携して93のプロジェクトを実施

アジアへの近接性・住みやすさ



- 安価な生活コスト
消費者物価の安さ
政令市 **1位**
- 子育て施設の充実
次世代育成環境
ランキング
政令市 **1位**
(4年連続)
- 合計特殊出生率
1.55 (H25)
政令市
トップクラス

「北九州市スマートシティ創造特区」が目指す姿 ～アジアの発展に貢献し、アジアとともに成長する都市・北九州市～

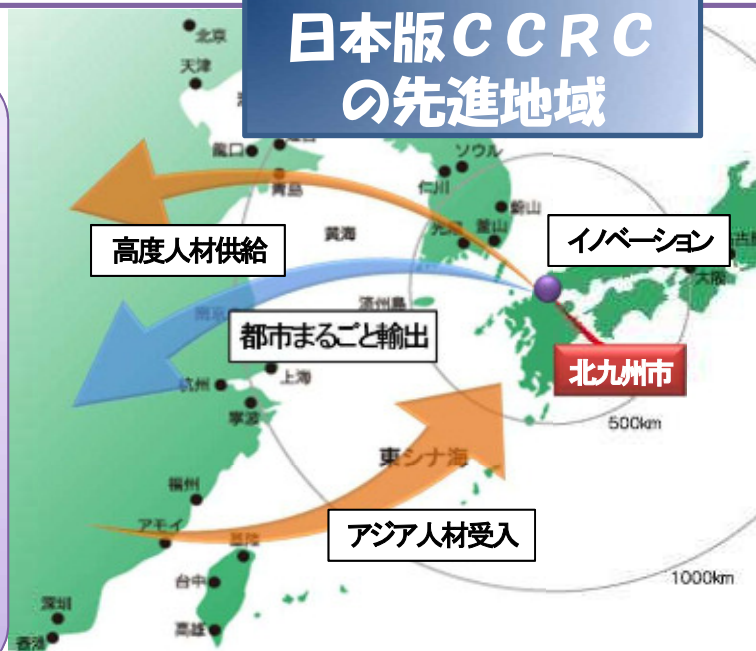
北九州市の強み = 環境・ものづくり・高齢化対応 + アジア諸都市との繋がり

スマートシティ・イノベーション

現在、そして今後、アジアが抱える都市課題の率先解決につながるイノベーションを創造

- ロボット活用等による人口減少・超高齢化対応
 - ・介護現場における労働力不足問題の解決
 - ・老朽インフラ管理等への対応
- エネルギー関連
 - ・地域エネルギーマネジメント、水素社会の実現 など

日本版CCRCの先進地域



都市まるごと輸出

北九州市の技術・経験・知能を総動員し、アジアスタンダードの確立と、アジアの「スマートシティ」化に貢献

- これまでの実績
 - ・廃棄物管理、上下水道、エネルギー、環境保全の4分野をまとめた「北九州モデル」を活用してインフラ輸出
- 今後の課題
 - ・高齢化社会対応、エネルギーマネジメント等をパッケージ化して輸出

質の高い都市環境整備

CCRC実証拠点

- 日本版CCRCを実証
(健康づくり、生涯学習、社会貢献活動、地域社会との協働 など)

“知”の創造拠点

- 企業・大学等の技術者・研究者が集結する頭脳拠点の形成
- 産学官の連携による企業スタートアップ拠点の形成
- アジアの高度人材育成拠点 など

BCP拠点 (低災害リスク)

- 首都圏から本社・工場等を誘致
- アジア進出企業の生産ライン等の国内回帰の促進
- 地元企業の新分野開拓、ものづくり技術・技能の継承 など



ハード、ソフトの「都市インフラ」をオーダーメイドで輸出・展開し、新たな成長力を確保
アジアの課題解決への貢献と、アジアの活力を呼び込み共に成長

主な規制改革事項

スマートシティ・イノベーション

○ アシストツールの介護現場等導入促進のための実証・実装

- 人口減少・超高齢化による生産年齢人口の減少をにらみ、産学官及び医工連携により、介護現場等の作業分析や、アシストツールの作業効率化・労働者の身体負荷低減効果の定量評価実証などにより、職場導入プロセスの標準化を図り、未来志向の職場環境モデルを提案。



規制改革 等提案

- ・ロボット導入による作業効率化・負荷低減実証実験を通じた標準基準策定
- ・新たな施設運営基準に基づく社会実装（介護保険法）

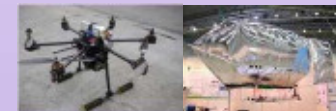
介護保険法第88条第3項

3 都道府県が前二項の条例を定めるに当たっては、次に掲げる事項については厚生労働省令で定める基準に従い定めるものとし、その他の事項については厚生労働省令で定める基準を参酌するものとする。

- 一 指定介護福祉施設サービスに従事する従業者及びその員数
- 二 指定介護老人福祉施設に係る居室の床面積
- 三 指定介護老人福祉施設の運営に関する事項であって、入所する要介護者のサービスの適切な利用、適切な処遇及び安全の確保並びに秘密の保持に密接に関連するものとして厚生労働省令で定めるもの

○ 飛行型ロボットによる環境観測、インフラ点検等実証

- インフラの老朽化、熟練労働者の人手不足に対応するための飛行型ロボットによるインフラ点検を実証。



規制改革 等提案

- ロボット活用による老朽インフラ点検基準の緩和（道路法、電波法） など

主な規制改革事項

都市まるごと輸出

- メンテナンス分野に強みを有する北九州市内企業等において、我が国のインフラシステムを現地で長寿命・高効率に活用できる高度外国人材を育成し、都市まるごと輸出を推進。

規制改革
等提案

インフラメンテナンスに従事する外国人材を受け入れるための新たな在留資格の創設

質の高い都市環境整備

我が国やアジア諸国が直面している、または今後直面する様々な都市課題の解決に向けた先導的な取り組みを常に発信。

○ CCRC実証拠点

- 北九州市の充実したシニア関連施策に基づいた「北九州版CCRC」を全国に先駆けてモデル的に実証。

規制改革
等提案

- ・「アクティブシニア・ハローワーク（仮称）」の試験的实施（雇用対策法）
- ・空き家を無償譲渡した場合の贈与税の免除（租税特別措置法）

○ “知”の創造拠点

- 現在産学官で研究開発が行われている自動走行の公道での実証を実現。

規制改革
等提案

公道での自動走行の技術実証を行うための規制緩和（道路交通法）



○ BCP拠点（低災害リスク）

- 低災害リスクの優位性と東九州自動車道、北九州空港等の物流機能や産業インフラの強みを活かし、企業立地を促進。

規制改革
等提案

- ・農業振興地域における農地転用の許可基準の緩和（農地法等）
- ・遊休工場活用に向けた地方拠点強化税制の対象拡大（法人税軽減措置） など

国家戦略特区指定に係るスケジュール（参考）

指定に関すること	第一次選定	今回
国家戦略特区に関するアイデア募集	平成 25 年 8 月 12 日～ 9 月 11 日	平成 27 年 4 月 28 日～ 6 月 5 日
アイデア提案に係るヒアリング	9 月 5 日～ 9 月 19 日	近日中
国家戦略特区諮問会議にて、指定自治体を決定	3 月 28 日	年内
国家戦略特区の指定自治体を閣議決定	4 月 25 日	